



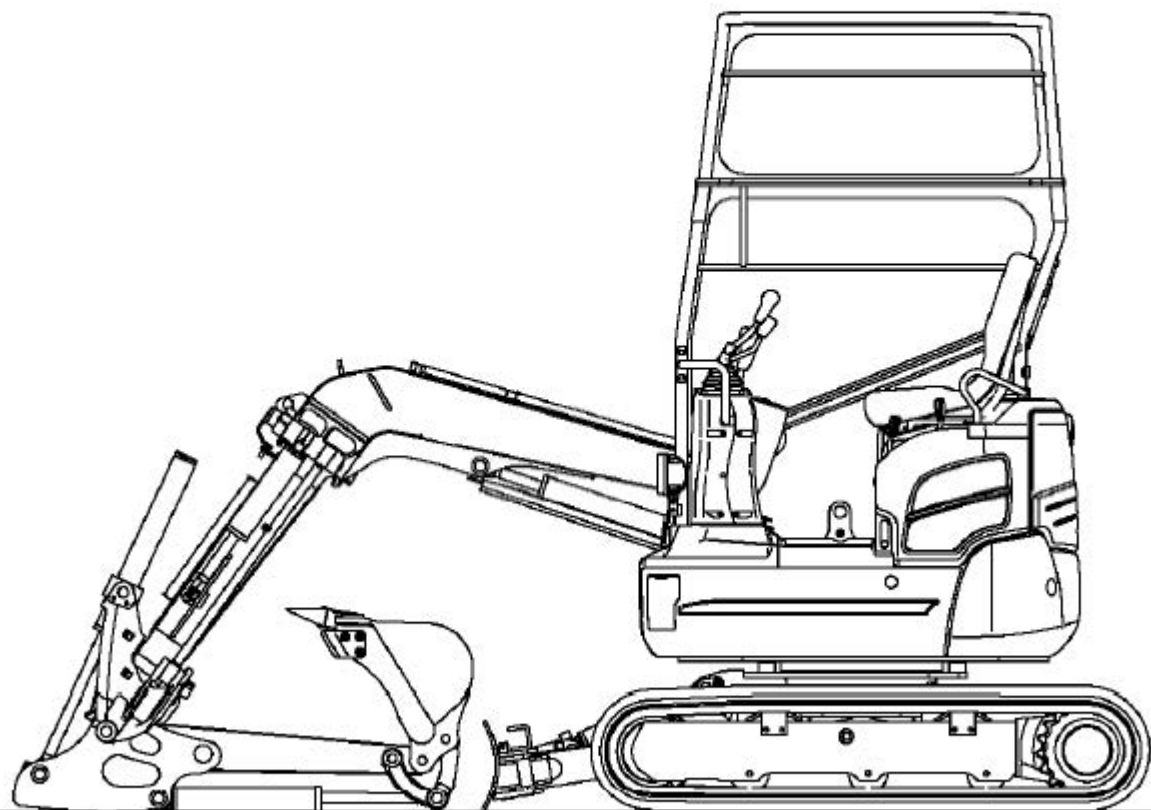
警告

- 作動油タンクの給油口を外すときは、油温が完全に下がってから外してください。油が噴出し、ヤケドをする可能性があります。
- エンジンを停止して、給油キャップをゆっくり開けてタンクの内圧を抜いてください。

重要：

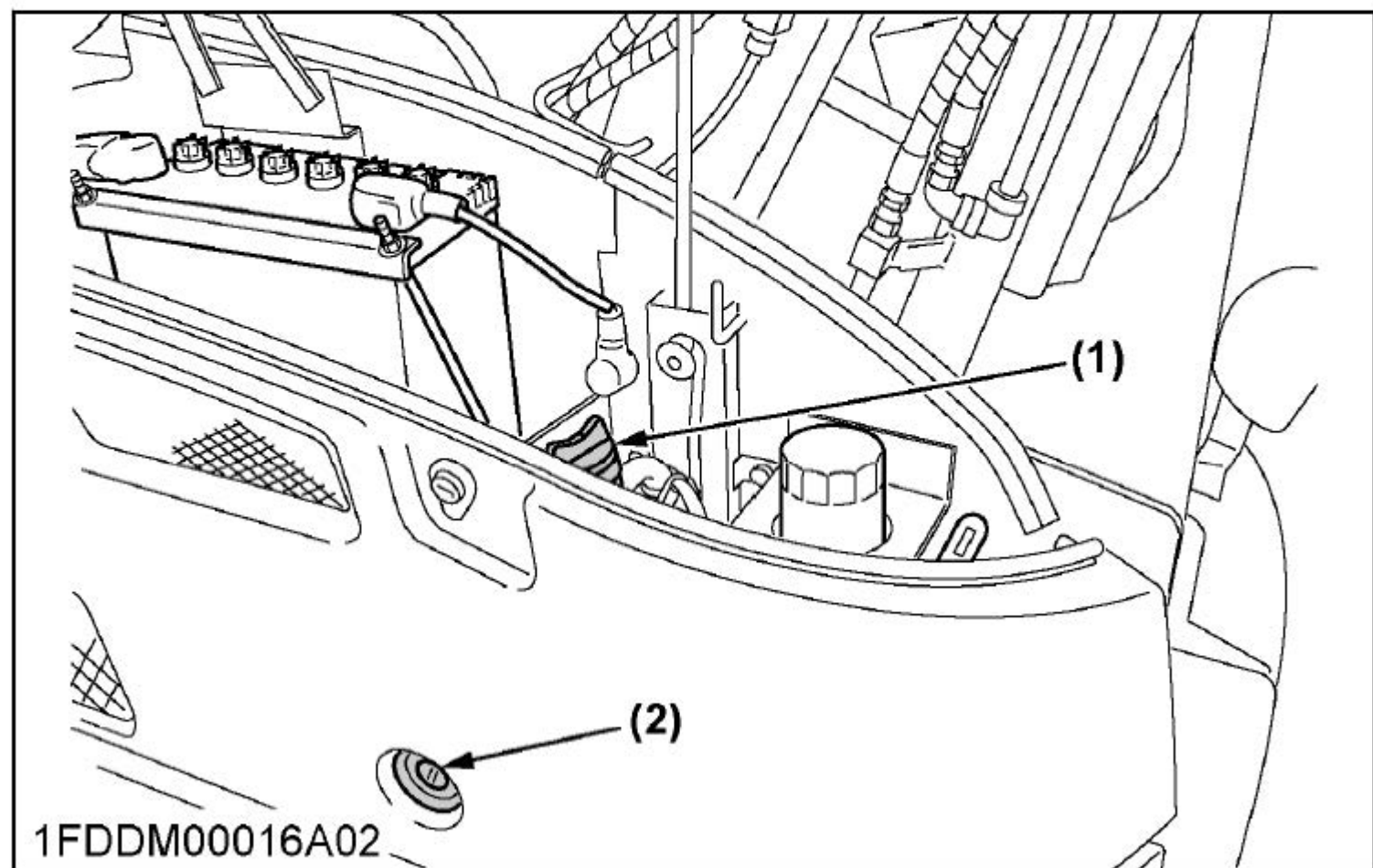
- 補給する場合は、付近の砂やゴミをよくふき取り、必ず同一銘柄の作動油を使用してください。
工場出荷時の作動油銘柄は、推奨オイルとグリース一覧表（119 ページ）を参照してください。
絶対に他銘柄と混合しないでください。

1. 足幅を最伸（1240 mm）にします。
2. 機体を水平な所に止め、フロント部はオフセット中央、アームとバケットを最大かきこみにして、バケットリンクおよびブレードを地面に接地させます。



1FDDM00035A01

3. 作動油が、常温（10℃～30℃）において油面計の中央になっているか点検します。
油面計の中央にあれば正常です。
4. 不足しているときは、給油キャップをゆっくり開けて内圧を抜き、給油口より補給します。



- (1) 給油口
- (2) 油面計

5. 作動油に水などが混入したときは、全量交換をします。
(全量交換の詳細は作動油、および作動油サクションフィルタの交換 (103 ページ) を参照)

作動油オイル交換容量	全油量 21 L (タンクのみ : 13 L)
------------	----------------------------